

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
日本国憲法	講義	2	木幡 一彦
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 「あなたは幸せですか?」「あなたは満足のいく保育や教育を受けましたか?」……「教育を受ける権利」や「幸福を求める権利」が私たちを守ってくれています。でも、なかにはそれらの権利で守ってもらえていない人たちがいます。学校へ行けない、いじめにあった、暴力を受けた、働きたいのに働けない、……。私たちは幸せを求めているし、私たちは自由な存在です。それを認めてくれているのが「憲法」です。この講義では、私たちの生活と憲法との関わりを常に意識しながら、国民・基本的人権・自由・権利・平和・生活について考えていく。 ①日本国憲法がどのような由来をもち、どのような原理に立脚しているのかの概略を理解し、説明できること。 ②日本国憲法の基本的な考え方から現代社会で生起する人権問題をどのようにとらえられるかを考え、説明できるようになること			
<b>【授業の概要】</b> 1. レジュメを用いながら、各回のテーマを中心に講義を行う。 2. 必要に応じて映像を用いる。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b> 1. オリエンテーション 2. そもそも憲法とは? ―国民国家と憲法― 3. 私たちの権利・義務について 4. 日本国憲法前文の意義とは? 5. 日本国憲法のなかの天皇 6. 平和憲法とは? 7. 基本的人権とは? ―誕生・入学・就職・結婚・老後― 8. 日本国憲法と保育 9. 日本国憲法と教育 10. 日本国憲法と働くこと・働き方 11. 国の組織 ―国会・裁判所― 12. 国のお金のこと 13. 日本国憲法と時事問題① ―憲法改正とは?― 14. 日本国憲法と時事問題② ―「最低限度の生活」とは?― 15. まとめ			
<b>【準備学習の内容】</b> 予習のあり方: ニュースや新聞記事の保育や教育・就職や雇用・医療や介護など「教育を受ける権利」や「幸福を追求する権利」に関する記事に関心を示し、幅広く情報を得ておくこと。 学習のあり方: 自分がもつ自由や権利について何が自由であり、何が権利なのか、それらはしっかり保障されているのかどうか、常に問いと振り返り(反芻)をもとに、学んでいくこと。 復習のあり方: 授業内容についての疑問点を整理し、授業中でも授業後でも必ずその時に解決する習慣をつけましょう。			
<b>【成績評価】</b> 課題提出などを含む授業への参加度合(20%)、試験(80%)をもとに総合的に評価する。すべて出席する			

のが原則です。遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

【テキスト】

『小学館アーカイヴス 日本国憲法』 小学館

【参考文献】

授業中に指示する。